科目名 Subject Name	開講年次	開講学期	曜日・時限
介護の基本VI **Fundamentals of Care VI**	2年	後期	時間割参照

単位数	授業の形態	授業の性格
2単位	講義	選択　（介護福祉士養成課程必修）

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

特記なし

同時に履修しておくことが望まれる科目

特記なし

担当者に関する情報

氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
新井文子	福祉棟2階	初回授業にて説明	授業中に指示します

授業の概要

リスクマネジメントの意義と基本的な視点を学び、日常生活に潜むリスクを通して介護サービスにおけるリスクマネジメントを理解する。また、危険予知訓練（KYT）を通して、気づきの重要性を学ぶ。そして、利用者の事故防止と安全対策について、感染予防を含めて学ぶ。さらに、介護従事者の心身両面の健康管理と安全な介護サービスとの関連を理解する。

授業の到達目標

①リスクマネジメントの意義と必要性を理解できるようにする。
②介護におけるリスクマネジメントを通して、利用者および介護者の事故防止と安全対策について理解できるようにする。
③感染の予防と方法を理解できるようにする。

授業の方法

講義中心であるが、危険予知訓練（KYT）および生活リスクについては、演習（個人ワーク・グループワーク・発表）を取り入れる。

学習の成果

①介護におけるリスクマネジメントの必要性を理解することができる。
②危険予知訓練（KYT）により、気づきの重要性を理解することができる。
③感染予防および介護従事者の健康管理について理解することができる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	ガイダンス（シラバスにそって）　リスクマネジメントとは何か。
第2回目	リスクマネジメントの歴史、リスクの分類（企業リスクをもとに介護リスクにつなげる）
第3回目	介護現場とリスクマネジメントの必要性 介護保険制度との関わり
第4回目	介護リスクマネジメント①　介護の特性と事故
第5回目	介護リスクマネジメント②　基本的な視点、リスクマネジメントの進め方
第6回目	介護リスクマネジメント③　介護の質とクォリティインプルーブメント（QI）
第7回目	介護現場におけるリスクマネジメント①　危険予知訓練（KYT）について
第8回目	介護現場におけるリスクマネジメント②　介護場面における危険予知訓練（KYT）グループワーク（レポート1）
第9回目	介護現場におけるリスクマネジメント③　介護場面における危険予知訓練（KYT）　発表　まとめ
第10回目	介護現場におけるリスクマネジメント④　ヒヤリハット事例、記録の書き方、個人ワークの課題提示
第11回目	生活リスクとマネジメント①　日常生活におけるリスクマネジメント　グループワーク
第12回目	生活リスクとマネジメント②　日常生活におけるリスクマネジメント　発表　まとめ　（レポート2）
第13回目	感染予防　感染予防の基礎知識、感染予防管理、衛生管理等（視聴覚教材使用）
第14回目	介護従事者の安全　心身の健康管理、関連法規
第15回目	まとめ　（試験レポート提出日）

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	個人ワークを適切におこなったうえで、積極的にグループワークに参加し、意見を述べている。
レポート	20%	①危険予知訓練（KYT）：4つのステップにそってまとめられている。 ②生活リスク：日常生活上のリスクを適切に捉えマネジメントしている。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	60%	授業の内容を中心に、利用者の安全に対する自己の捉え方に関するレポート形式である。課題は提出日の約1か月前に提示する。指定された項目に対してまとめ、自己の捉え方を明確に記述している。
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教科書　　新･介護福祉士養成講座４「介護の基本Ⅱ」中央法規出版

履修上の心得・ルール

常に利用者の生活の場と自分の日常生活とを対比させ、意識しながら考えていくようにしてほしい。